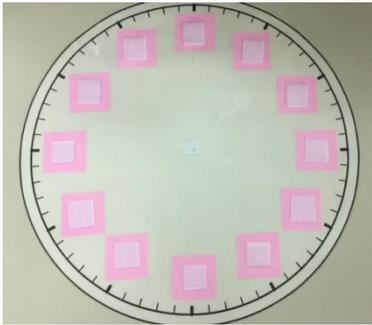
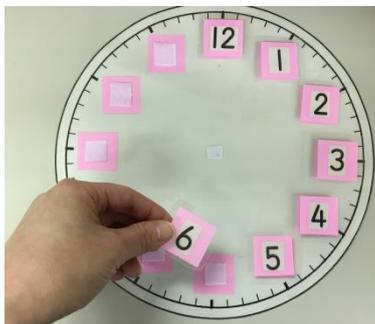


大項目	時計
小項目	時計に親しむ
タイトル (教材名)	時計を作ろう！
目的 身につけてほしいか	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計に親しむ ・文字盤の数字の位置関係を理解する ・目と手の協応を高める
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>①インターネットで「幼児の学習素材館」を検索し「時計の文字盤と針(3)」を無料ダウンロードして印刷する。(必要に応じて拡大する)</p> <p>②文字盤の数字の上にそれぞれ四角に切った色画用紙を貼り、ラミネートする。さらに、その上にマジックテープ(接着タイプ:100円ショップで販売されています)を貼り付ける。(写真ア)</p> <p>③写真イのように、②で貼り付けた色画用紙と同じ大きさで数字カードを作り、ラミネートする。裏にマジックテープを貼り付け②の本体と貼ったり外したりできるようにする。(写真イ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真ア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真イ</p> </div> </div>
教材の使用方法	<p>数字カード、時計を作っていく。文字盤ができたなら、短針と長針を置く。最初は、実物の時計などの見本を見ながら行くと、取り組みやすい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真ア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真イ</p> </div> </div>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参考文献「特別支援の算数教材 初級編」 (伊庭 葉子、株式会社学研教育みらい、2010) ・参考 URL 「幼児の学習素材館」 http://happyliiac.net